

住まい

スタイリッシュな

こだわりのインテリアで美しく暮す

第11回

ずっと憧れている暮らし。
海外セレブのような家に
住みたいという思い。
LAのインテリアデザイン
事務所でキャリアを積んだ
インテリアデザイナーが、
洗練された住まいの
スタイリングを提案します。

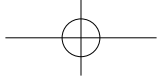
映画のシーンに潜むインテリア Vol. 2

海外のインテリアを参考に
前回に引き続き、映画の中のインテリアコーディネートについてお話しします。好きな映画のインテリアに視点を当てていただくと、いつもとは違った映画の見方が楽しめます。「海外のインテリアを参考にするために何から始めれば良いのか」というご質問をよくいただきます。そう聞かれたら私は、迷わず「映画を観ること」と答えます。もちろん海外の素敵なインテリアの写真集やスタイルブックも参考になりますが、映画の場合は登場人物が部屋の中で動き回るといった大きな違いがあります。実際の生活の場として見るからこそ、インテリアが持つ意味や背景

インテリアデザイナー Mayumi Nishijima

高校・大学を米国で過ごし、インテリアデザインを専攻。Los Angelesにあるインテリアデザイン事務所 Barry Design Associates にてホテルデザインに携わる。その後、総合商社にてインテリアデザイナーとして勤務後、専門学校にてインテリアデザイン科の設立からカリキュラムの構築及び専任教師へ。丸の内五つ星ホテル、Shangri-La Hotel のホテルプロジェクトに参加。現在はフリーランスインテリアデザイナーとして Rule Interior を主宰。個人邸、サロン他、高級有料老人ホーム、雑誌の企画・監修・スタイリングなど、インテリアに関する様々な仕事を手掛ける。





RULE INTERIOR DESIGN

エレガントで上質なデザインを基調とし、お客様のご希望のスタイルを実現していただくためにオリジナルプラン（デザイン企画・設計）をプロデュースいたします。

ルール インテリア デザイン インテリアデザイン・リフォーム 施工・オリジナル家具

住宅・店舗のインテリア設計
マンションリフォーム
リノベーション
オリジナル家具

www.ruleinterior.com

tel : 03-6427-5815

東京都豊島区東池袋 3-23-8 2F



が伝わってくるのだと思います。
こだわりの作品「ホリデイ」
 前回ご紹介したお洒落なインテリアにこだわった監督として有名なアメリカ人の監督のナンシー・メイヤーの素敵なインテリアの映画をもう一つご紹介いたします。今回は、「ホリデイ」のインテリアを見てみましょう。
 「ホリデイ」は、キャメロン・デイス、ケイト・ウィンスレットがクリスマスに、ロサンゼルスとロンドンの家を交換するお話です。アイリス（ケイト・ウィンスレット）はイギリスにあるちよつとアンティークな、まるで夢のようなコテージ、「ローズ・コテージ」に住んでいます。一方、アメリカのアマンダ（キャメロン・デイス）が住むのは、ロスのセレブで超ゴージャスな邸宅です。この映画の中で印象的なシーンは、アイリス（ケイト・ウィンスレット）が、アメリカのアマンダ（キャメロン・デイス）の広大な母屋に着いて、ワクワクしながら部屋から部屋を走り回る場面でしょう。映画

広告ビジネスで成功したアマンダのおしゃれにコーディネートされた家に滞在できる喜びが伝わってきます。インテリアにご興味がある方、このシーンでは、是非アイリスと一緒にインテリアを楽しんでみてください！
映画の新しい楽しみ方
 アイリスの家とアマンダの家の違いを出すのは、この映画の中ではとても重要な意味があります。キャラクターの資質を伝えることが、インテリアや家を演出することの最終目的だからです。
 プロダクションデザイナー（映画のセットデザインをするデザイナー）のジョン・ハットマンによれば、「アマンダ（キャメロン・デイス）の家のインテリアは、何かが欠けている。だけど、それがアマンダなんだ。彼女は何でも持っているけれど、自身はからっぽなんだ。誰もが欲しい家なのに、誰も住んでいないような感じの家。それがこの話にピッタリなんだよ。」
 ナンシー・メイヤーズ監督は、映画の構想を練るなかで生まれてきた



ヴィジョンを具体化していく過程についてこう語ります。「本、カタログ、雑誌、古い映画など、あらゆるものをリサーチして、イメージする家、インテリアのデザインの構図がで上がるのだ」と。
 ナンシーの脚本は、徹底的に考えぬいて書かれたもので、彼女は好き嫌いがはっきりしているそうです。ランプ、壁の色、ファブリックの素材見本まで、どんな細かいものまで指示があるようです。
 ナンシー・メイヤーズ監督は「私の母はデコレーター（昔のインテリアアコディネーター）だったの。祖母は、アンティーク・ショップをもっていたわ。そんな環境の中で育ったから私は、細かい事、つまり映画のセットの中の物が、どんな効果を生むかまで気をつかうようになったのよ。」と語っています。
 インテリアアコディネートのコツが満載のナンシー・メイヤーズの作品。今度は、インテリアを見るという、今まではちよつと違った目線で映画を楽しんでみてください。